

國際學術研討會 「近代日本哲學與東亞」



本中心於 2016 年 11 月 5 日舉辦「近代日本哲學與東亞・國際學術研討會」，當天來自日本、韓國、香港與義大利等地的學者齊聚一堂，針對近代日本哲學在東亞地區的交流與互相影響進行熱烈的討論。

2016年11月5日、「近代日本哲学と東アジア国際学術シンポジウム」を開催した。日本や韓国、香港、イタリア等の研究者が一堂に会し、近代日本哲学の東アジア地域における交流とその影響について熱心な討論が行われた。

研討會開始前，本中心和香港中文大學比較日本學研究中心簽訂學術合作協議。比較日本學研究中心主任吳偉明教授致詞中表示：

またシンポジウム開始前には、香港中文大學比較日本学研究中心との学术交流協定調印式が執り行われた。研究センター吳偉明教授からは、「香港中文大學比較日本学研究中心は香港唯一の日本研究機関。台湾大學日本研究センターとの協定は喜ばしいことであり、今後のより密接な連携、交流を期待している」との挨拶があった。

香港中文大學比較日本學研究中心為香港唯一的日本研究單位，很高興與台灣大學日本研究中心簽署學術合作協議，並對兩中心的締約獻上祝福之意以及期許未來更密切的互助合作交流。

記念撮影の後、京都大学大学院藤田正勝教授の基調講演を皮切りに、西から東まで各国の研究者がそれぞれの領域と観点から意見



國際學術シンポジウム 「近代日本哲学と東アジア」

2016.11.05

12

於紀念合影後，由京都大學大學院的藤田正勝教授的專題演講揭開研討會序幕，之後從西方到東方的各國研究者從各自的領域及觀點提出發表內容，並與出席研討會的與會學生及各界人士進行交流。

台灣位在東亞的樞紐，由於在地緣與歷史上的特殊地位，成為東亞、乃至世界上的研究者均能自由參與進行發表的園地。本次研討會邀請來自各地的研究者們齊聚一堂進行討論。今後，本中心也將繼續擔任促進台灣與國際日本研究交流的橋樑。◆

を發表し、また参加者との交流の場面も見られた。

台灣は東アジア群島の中枢に位置し、地政学的にも歴史的にもその特殊な地位から、東アジア、ひいては世界の研究者が自由に発表することができる場となっている。今回のシンポジウムでもさまざまな国の研究者を招聘した。本センターは、今後も台湾と世界各地の日本研究者の交流を促進していく。◆



▲簽署儀式

近代日本哲學與東亞國際學術研討會 議程

專題演講

講題／テーマ：近代日本哲学と東アジア

主講人／講演者：藤田正勝（京都大学大学院総合生存館）



▲藤田正勝教授演講

國際學術研討會 「近代日本哲學與東亞」

13

論文發表一

講題／テーマ：西洋哲学からみた東アジアの哲学—イタリアにおける
西田幾多郎のインターカルチャー的解釈を例として—

発表者：FONGARO Enrico（東北大学大学院文学研究科）

講題／テーマ：和辻哲郎の間柄：儒学から徳倫理学へ

発表者：林永強（東京大学大学院総合文化研究科）

論文發表二

講題／テーマ：井筒俊彦「東洋哲学」の論理—分節と無分節との同時現成

発表者：西平直（京都大学大学院教育学研究科）

講題／テーマ：韓国の学術史形成と近代日本

発表者：姜智恩（国立台湾大学国家發展研究所）

論文發表三

講題／テーマ：根本通明《周易象義辯正》と明治天皇制

発表者：吳偉明（香港中文大學日本研究學系）

講題／テーマ：丸山真男の江戸儒学論と近代

発表者：藍弘岳（国立交通大学社會與文化研究所）



▲來賓提問

国際学術シンポジウム 「近代日本哲学と東アジア」

2016.11.05

14

論文発表四

講 題/テーマ：呼応性と意味と論理－西田以降の場所論をてがかりに

発表者：朝倉友海（北海道教育大学教育学部）

講 題/テーマ：東アジアにおける京都学派哲学の現代的意義と限界

発表者：廖欽彬（広州中山大学哲学系）



総合討論

與談人/パネリスト：

藤田正勝、西平直、吳偉明、FONGARO Enrico

